



日本食物繊維研究会第6回学術集会と公開講演会の御案内	1
日本食物繊維研究会第6回学術集会プログラム	2
編集委員会より	8

日本食物繊維研究会第6回学術集会と公開講演会の御案内

第6回学術集会長
海老原 清

日本食物繊維研究会第6回学術集会と公開講演会を愛媛大学農学部（愛媛県松山市）において平成13年10月26日（金）と27日（土）の日程で開催させていただきます。本学術集会の開催も今回で第6回を迎え、これまでの学術集会がいずれもすばらしいものであったことを考えますと、本学術集会長として責任の重さを痛感する次第です。今回の学術集会がこれまでの学術集会と同様に多くの方々にご参加いただき、有意義な学術集会になることを願ってやみません。

一般講演は26日、27日の午前中に行います。活発な議論を期待しています。シンポジウムは26日の午後に、一つは「消化管機能と食物繊維」というテーマで、小腸、盲腸、結腸での食物繊維の働きを最近の知見も含め総括的に話題提供していただくことになっています。もう一つは「食物繊維－最近の話題－」というテーマで、食物繊維の新しい機能について話題提供をしていただくことになっています。

「食と健康の関わり」については多くの方々に関心をもっているところであり、テレビ等を通して多くの情報が氾濫していますが、必ずしも正確な情報が発信されているとは限りません。公開講演会は27日に一般市民を対象に開催し、「生活習慣病予防と食物繊維」をテーマに、講師の先生方には正確で難しい内容をできるだけ平易に、かみ砕いて話をしていただくことになっています。研究成果を公開講演会を通して一般の方々に発信する、こうした取り組みを継続的、積極的に行っている学会および研究会は非常に少ないかと思えます。日本食物繊維研究会の誇れる点かと思えます。

今回の学術集会の地は四国松山です。松山は日本最古の温泉、夏目漱石、正岡子規といろいろと話題の多い街ですが、「坂の上の雲」（司馬遼太郎）の秋山兄弟の生誕の地でもあります。農学部キャンパスは、昨年、日本栄養・食糧学会が開催された松山市内の北に位置する城北キャンパスとは異なり、市内東部に位置します。遠方の地ではありますが、大勢の方々の参加を期待しております。

第6回学術集会プログラム

会場 愛媛大学農学部（愛媛県松山市）

会長 海老原 清（愛媛大学農学部教授）

1. 行事日程

10月26日（金）

- 8:35～ 9:20 幹 事 会（連合農学研究科会議室， 1 F）
- 9:30～11:00 一般講演発表（農学部4 4 番教室， 4 F）
- 11:00～12:00 評 議 員 会（農学部4 4 番教室， 4 F）
- 12:00～13:00 昼 食
- 13:00～13:30 総 会（農学部4 4 番教室， 4 F）
- 13:30～18:00 シンポジウム（農学部4 4 番教室， 4 F）
 - 1: 「消化管機能と食物繊維」
 - 2: 「食物繊維－最近の話題－」
- 18:00～19:30 懇 親 会（生協会館集会所， 2 F）

10月27日（土）

- 9:30～11:00 一般講演発表（農学部4 4 番教室， 4 F）
- 11:00～13:30 昼 食
- 13:30～16:30 公開講演会（農学部大講義室， 1 F）

2. 参加者への御案内

1) 総会および学術集会受付

総会および学術集会の受付は、農学部正面玄関にて行います。参加費（講演要旨集込み）は正会員3,000円、学生会員1,500円、非会員4,000円です。

2) 呼び出し、クロークなど

会場での呼び出しは行いません。また、クロークも設置しませんので、荷物は各自で保管して下さい。

3) 昼食

生協会館1 F 食堂、喫茶店をご利用下さい。近隣には数件飲食店がございますのでこちらもご利用下さい。

4) 懇親会

シンポジウム終了後、生協会館2 F 集会所で開催します。会費4,000円（当日徴収）。

5) 連絡先

日本食物繊維研究会第6回学術集会事務局

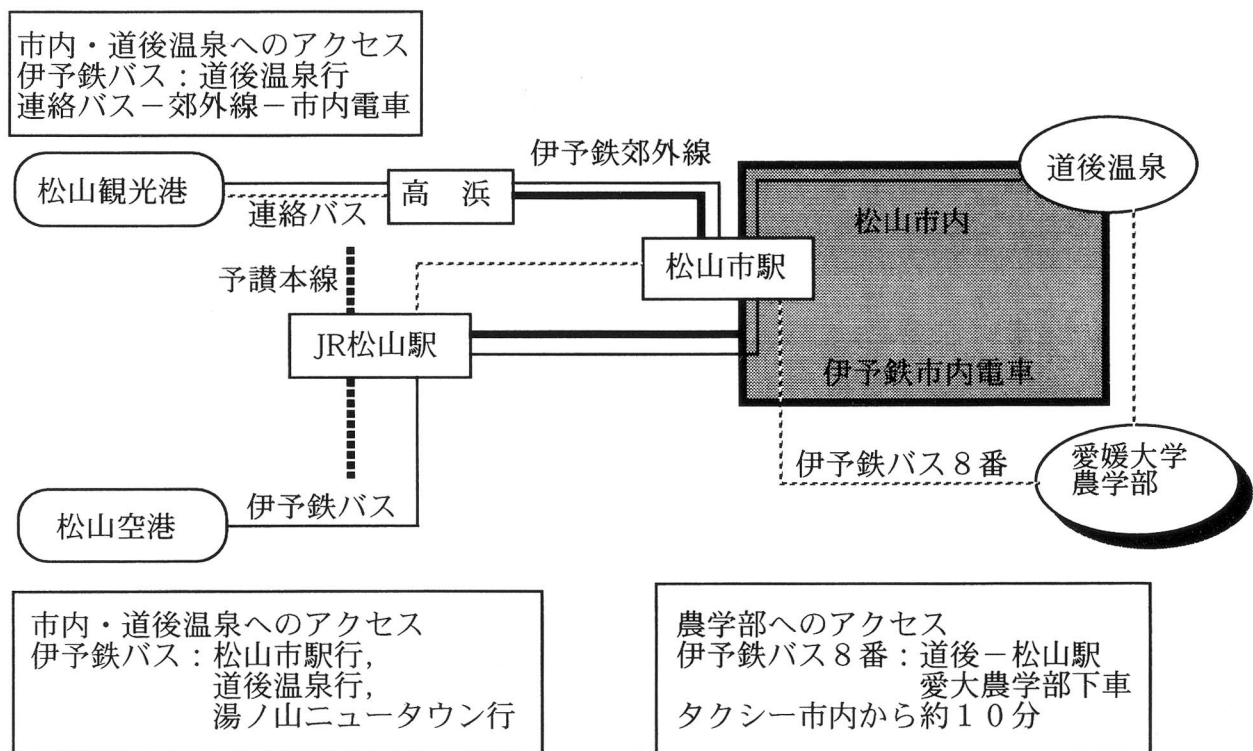
〒790-8566 愛媛県松山市樽味3-5-7

愛媛大学農学部応用生命化学コース栄養科学研究室

TEL:089-946-9983, FAX:089-977-4364

E-mail:kishida@agr.ehime-u.ac.jp

6) 学術集会への交通案内



松山観光港：バス（道後温泉行き。途中松山市駅，大街道，道後温泉に止まります）で

松山市駅下車：⑧道後温泉行きに乗車，愛媛大学農学部前下車

道後温泉下車：⑧松山駅行きに乗車，愛媛大学農学部前下車

松山空港：バス（奥道後または湯ノ山ニュータウン行き。途中松山市駅，大街道，道後温泉に止まります）で

松山市駅下車：⑧道後温泉行きに乗車，愛媛大学農学部前下車

道後温泉下車：⑧松山駅行きに乗車，愛媛大学農学部前下車

3. 一般講演プログラム

10月26日（金）

時刻	演題番号	演 題
----	------	-----

座長 : 真田 宏夫 (千葉大)

- 9:30 1 ラットにおける難消化性二糖セロビオースの下痢誘発性ならびに消化管機能に及ぼす影響

○中村禎子, Jang Eun Bong, 奥 恒行
(県立長崎シーボルト大)

- 9:50 2 スクロース摂取における低カロリーD-タガトース同時摂取の血糖上昇に及ぼす影響

○藤沼靖和¹, 武田明治¹, 今井智恵子², 山田和彦²
(日本大・食品科学工学¹, 国立健康・栄養研・食品表示分析・規格²)

10:10 休 憩

座長 : 池上幸江 (大妻女子大学)

- 10:20 3 糖アルコールの生理効果—L-arabitolの特性—

○井上祐子¹, 丸山弘子², 岸田太郎³, 海老原清³, 片山(須川)洋子¹
(福岡女子大・院¹, 北里大・病理², 愛媛大・農³)

- 10:40 4 酵素処理米糠ヘミセルロース(MGN-3)がラットの実験的ガラクトサミン肝障害に及ぼす影響

台蔵彩子¹, 山田太斗², 江頭祐嘉合², 前田浩明³, 太田剛雄², ○真田宏夫²
(千葉大・院・自然科学¹, 千葉大・生物生産科学², 大和薬品(株)³)

10月27日（土）

時刻	演題番号	演 題
座長 : 倉沢 新一 (関東学院女子短大)		
9:30	5	小腸粘膜の二糖類水解酵素の分布と形態に与える粘性食物繊維の影響 ○池上幸江 ¹ , 細田晶子 ¹ , 山本美樹 ¹ , 山本恭子 ¹ , 今井智恵子 ² , 山田和彦 ² (大妻女子大 ¹ , 国立健康・栄養研 ²)
9:50	6	大豆種皮粉末の有効利用に関する基礎的研究 －食物繊維源としての有効性の検討－ ○早川享志 ¹ , 柴田悦子 ¹ , 柘植治人 ¹ , 上野午良 ² , 中谷明浩 ² , 木戸啓之 ³ , 小澤洋一 ³ , 森永 康 ³ (岐阜大農・食品科学 ¹ , 味の素製油(株) ² , 味の素(株)・食品研 ³)
10:10		休 憩
座長 : 山田 和彦 (国立健康・栄養研)		
10:20	7	定量法・検討班活動報告 －酵素処理を簡便化したプロスキー改良法のクロスチェック－ 検討班: ○金谷 建一郎, 印南 敏, 森 文平, 高橋 リエ, 池上 幸江, 倉沢 新一, 奥崎 政美 協力機関: 山本 美樹 ¹ , 多田 周作 ² , 高橋 聡子 ² , 森 曜子 ³ , 井上 誠 ³ , 神部 武重 ³ , 吉井 信彦 ⁴ (大妻女子大学 ¹ , 大和化成 ² , 日本冷凍食品検査協会 ³ , 日本食品分析センター ⁴)
10:40	8	食物繊維の有効エネルギー評価に関する提案 ○奥 恒行, 中村 禎子 (県立長崎シーボルト大)

4. シンポジウム

10月26日(金)

時刻	演題番号	演	題
----	------	---	---

シンポジウム 1 : 消化管機能と食物繊維

座長：早川 享志 (岐阜大)

- | | | | |
|-------|---|---------------------------------------|-------------|
| 13:30 | 1 | 食物繊維とミネラル吸収ー上部消化管での作用ー | 岸田 太郎 (愛媛大) |
| 14:00 | 2 | 盲腸切除ラットの消化管機能と栄養素利用・代謝 | 坂口 英 (岡山大) |
| 14:30 | 3 | 実験的潰瘍性大腸炎モデルにおけるレジスタントスターチ摂取の治療効果について | 森田 達也 (静岡大) |
| 15:00 | | 討 論 | |
-

シンポジウム 2 : 食物繊維ー最近の話題ー

座長：奥 恒行 (県立長崎シーボルト大)

- | | | | |
|-------|---|-------------------------|------------------------------|
| 15:30 | 1 | キチンおよびキトサンオリゴ糖の生理作用 | 岡野 淳 (日本水産) |
| 16:00 | 2 | キシリトールの生理作用ー最近の研究からー | 崎山 淳子 (ダニスコカルター) |
| 16:30 | 3 | アラビノキシランの免疫調節作用 | 竹内 政保, 小川 浩一, 中村 信之 (日本食品化工) |
| 17:00 | 4 | ラフィノースとアトピー性皮膚炎改善効果について | 有塚 勉 (日本甜菜製糖) |
| 17:30 | | 討 論 | |
-
-

5. 公開講演会

「生活習慣病予防と食物繊維」

時刻	演題番号	演 題
座長 : 桐山 修八 (大妻女子大)		
14:00	1	食物繊維の話 海老原 清 (愛媛大)
14:30	2	肥満, 糖尿病の予防と食物繊維 池田 義雄 (タニタ体重科学研究所)
15:15	3	腸内フローラの保健機能と食物繊維 森下 芳行 (腸内細菌情報オフィス)
16:00		討 論

6. 講演者, 討論者, 座長へのお願い

1) 講演

講演時間: 発表15分, 討論5分

発表用としてスライドプロジェクターとOHPを用意いたします。

発表者は発表の30分前までに何れを使用するか申し出てください。スライドはホルダーにセットし, 試写してご確認ください。

2) 討論

討論の希望者は, 座長の指示に従い, 所属と氏名を述べてからご発言下さい。本研究会においては学会などではできないような問題についてもフランクに討論して下さい。

3) 座長へのお願い

運営の都合上, 当該時間の30分前までに会場へ到着し, 受付に出席している旨をお知らせ下さい。発表演題についての質問が少ないときは, その周辺の問題に関連した話題などを引き出して下さい。ただし, 指定時間は厳守して下さい。

編集委員会より

本年10月26, 27両日に渡り愛媛大学・海老原 清教授を集会長に第6回学術集会在開催されます。一般演題に加え、消化管機能や新機能をテーマにしたシンポジウムや一般向け公開講演会が企画されています。また、一般演題の中で定量法・検討班活動報告や現在話題の食物繊維の有効エネルギー評価に関する提案がなされます。会員の皆様はもとより関心ある研究者、企業の方々をお誘いの上多数の御参加を期待しております。

会員の皆様のご協力により、投稿論文数が次第に増えてきました。研究会誌をさらに充実すべく努力していきますので、早めの投稿をお願いいたします。

会員状況：平成13年9月30日現在

正会員	207名	学生会員	8名	賛助会員	40社
団体会員	4団体	名誉会員	9名		

【賛助会員】

参松工業株式会社	太陽化学株式会社	株式会社荻野商店
全国精麦工業協同組合連合会	大日本製薬株式会社	日本食品化工株式会社
佐合食品工業株式会社	ダニスコカルタージャパン株式会社	大塚製薬株式会社
大塚製薬株式会社佐賀研究所	雪印乳業株式会社	伊那食品工業株式会社
財団法人日本こんにゃく協会	株式会社はくばく	日本ケロッグ株式会社
株式会社林原生物化学研究所	社団法人菓子総合技術センター	松谷化学工業株式会社
サントリー株式会社	オリヒロ株式会社	株式会社カイゲン
富士バイオ株式会社	日清ファルマ株式会社	日本甜菜製糖株式会社
武田薬品工業株式会社	日本バイオコン株式会社	旭化成工業株式会社
株式会社横浜国際バイオ研究所	第一出版株式会社	清水化学株式会社
日清食品株式会社	三和澱粉工業株式会社	雪印食品株式会社
昭和産業株式会社	株式会社 日健総本社	朝日食品工業株式会社
フィプロ製薬株式会社	ア-ラフ-ズ イングレディエツジ ャパン株式会社	明治製菓株式会社
大和薬品株式会社		

(順不同)

日本食物繊維研究会 JDF News Letter No.12

発行日 : 2001年10月1日
 発行人 : 日本食物繊維研究会会長 池田義雄
 編集人 : 奥 恒行、青江誠一郎
 事務局 : 日本食物繊維研究会事務局
 〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1
 独立行政法人 国立健康・栄養研究所
 食品表示分析・規格研究部内
 TEL : 03-3203-5602, FAX:03-3205-6549
 印刷所 : 株式会社 交友社
 〒136-0072 東京都江東区大島8-38-5

